



JNSA西日本支部活動報告

西日本支部長
井上 陽一

2007年6月6日

最近の日本企業における情報セキュリティへの対応

マクロな視点で見れば・・・

- ・情報セキュリティ対策は浸透、
- ・PDCA (Plan, Do, Check, Action) サイクルが実現化している。

しかし、ミクロな視点で見ると・・・

- ・情報セキュリティ対策を戦略的に捕らえようとする企業は少ない。
- ・中小企業の一部では負担感もあり、対策が形骸化する恐れも。
- ・JNSAの知名度も浸透していない。

西日本支部の目指すもの



〈活動目的〉

西日本における情報セキュリティレベルの
維持向上を図ることにより大阪をより元気にしたい！

今年度の課題

現場の最前線として地域の要望・課題を収集し、
反映するための成果をいかに生み出すか！

そのためには・・・

・活動成果の公表

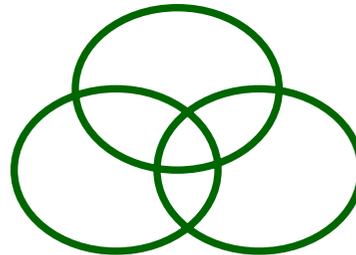
公からの評価を得て、支部メンバーの
モチベーション向上に資するワークの実現が必須。

2006年度の活動指針



課題実現のために心がけた行動

「啓発」



「対策度の評価」

「戦略的提言」

の三位一体化！

2006年度の活動指針



1. 西日本支部らしい！ 大阪らしいワーク！

中小企業 特に、製造業の集積地である事に注目した
中小企業の製造業を対象とした情報セキュリティチェック
シートWGの展開!

2. 関西(大阪)におけるIT啓発の促進、 IT成熟度等の調査研究で実績のある 団体との連携

蓄積データの共有
既存ユーザへの連続性のある訴求

(連携団体)

- ・近畿経済産業局地域経済部情報政策課 (WGオブザーバー)
- ・(財)関西情報・産業活性化センター
- ・独立行政法人情報処理推進機構(IPA) (Co-Work)

2006年度の活動指針

3. JNSA本部との積極的な交流、 パブリックコメント発信

本部の出先機関ではなく、地域の声の発信基地として
「西日本支部」名でWGとして参画。

内閣官房情報セキュリティセンター、経済産業省の意見公募に応募。

4. 発信主体の啓発方法の転換

従来のセミナー主体の啓発活動



ユーザ視点での成果物を通じてのアンケート、現場ヒアリングの
実施により、現状と課題の洗い出し、気づきから実践への誘導を行う。

2006年度の活動指針



以上を実践するには、地方の組織である
日本支部の体制は脆弱・・・。

対策として・・・

西日本を基盤とする企業の参画を新たに募った
(募る?)

サブスクライバーでの参画機会も活用
(2006.10-2007.3 で5社の新規入会の実績あり。)

2006年度 活動結果



1. 西日本支部会合

会合開催日(計6回)4/20, 6/26, 7/21, 8/25, 12/14, 3/16

12/14会合にはオブザーバーとして近畿経済産業局が参画、本部のWGリーダー3名も参画し、参加者も西日本では初めて30名を超えた。

2. セミナー運営WG

計3回のセミナーを開催

2006.7.21

「迫りくる中堅・中小企業に求められる内部統制への対応」

2006.10.26 <NSF2006 In Osaka>

「日本版SOX法に求められる情報セキュリティの役割」

2006.12.14

<本部WGリーダーを迎えての学習会を兼ねてのワークショップ>

- セキュアシステム開発ガイドラインWGリーダー(ラック 丸山司朗氏)
- 脆弱性定量化に向けての検討WGリーダー(京セラ 郷間佳市一郎氏)
- 情報セキュリティ報告書ランキングWGリーダー(凸版印刷 佐野智巳氏)

3. 情報セキュリティチェックシートWG

前身：「中小企業向け個人情報保護対策WG」

2年半にわたるWGの成果「個人情報保護対策チェックシート」をNSF2006 In Osakaで紹介。

来場者に体験していただき、結果をWebで公開

…初期の目的を達成!



「情報セキュリティチェックシートWG」を立ち上げ。

個人情報保護に限らず、情報セキュリティ全般を対象とする。

2006年度 活動結果



会合開催数

「中小企業向け個人情報保護対策WG」： 計10回

「情報セキュリティチェックシートWG」： 計3回

ISO27001を基礎に、SLA視点も含めたシステム管理基準も採用、また、個人情報保護法対策チェックシートで得られた表現・編集方法を組み込んだものとするべく、現在編集集中

2007年度の予定



企画・啓発WG、情報セキュリティチェックシートWGにおいて、企画性を前面に打ち出し、更に活動を活発化

省庁・団体との連携の強化

- ・IPA,近畿経済産業局とのミーティング開催
- ・近畿経済産業局からの要請事項を企画啓発WGがプロジェクト的に対応

